

奈良県てんかん地域診療連携体制整備事業

<https://nara.hosp.go.jp/html/tenkan/index.html>



▶ 国立病院機構 奈良医療センター
平林秀裕

脳神経外科 永田 清 下川原 立雄

小児神経科 澤井 康子

コーディネーター 田中ありさ

中塚敦子 辻 友博

▶ 奈良県立医科大学

脳神経外科 田村 健太郎

小児科 榊原 崇文

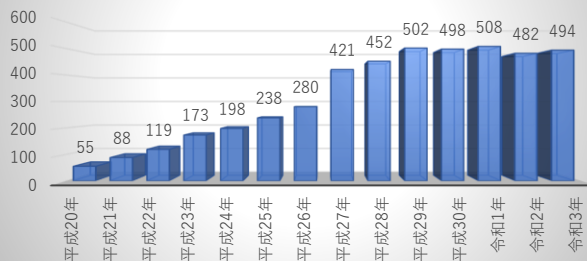
開示すべきCOIはありません



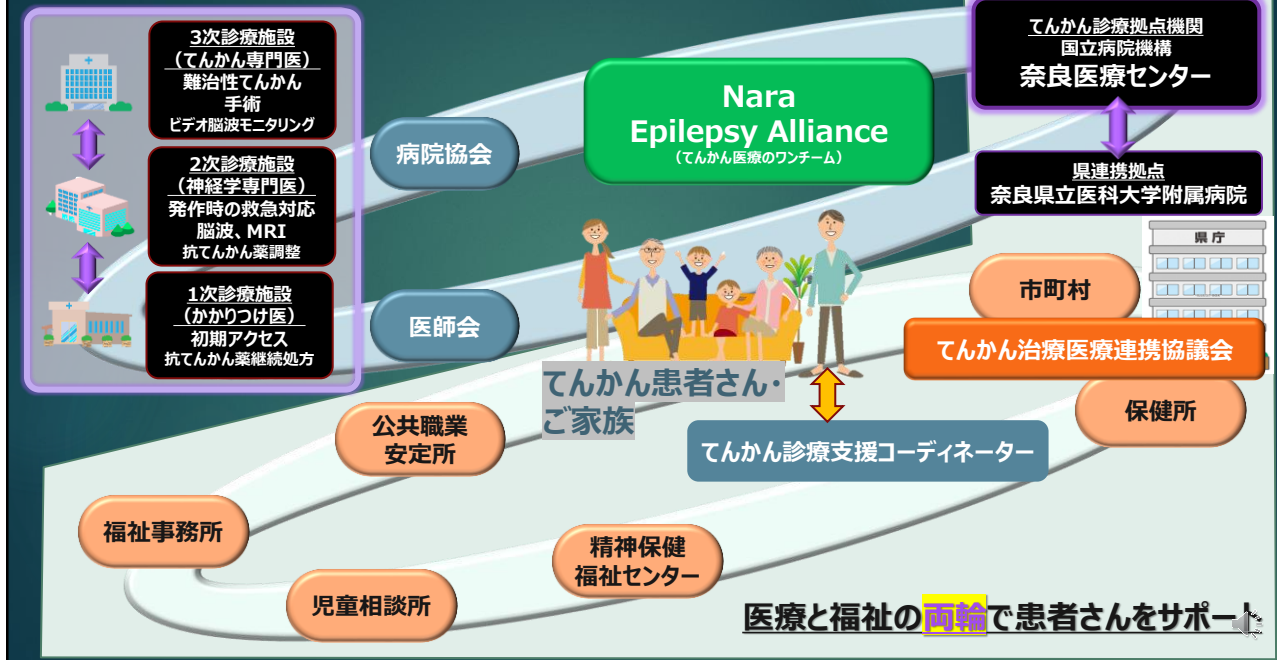
奈良医療センター てんかん診療の歩み

- ▶ 2008年てんかんセンター外来開始
- ▶ 2010年8月1日てんかんセンター開設
長時間ビデオ脳波検査室 2室
- ▶ 2017年2月 JEPICA2017奈良大会主催
- ▶ 2018年奈良県におけるてんかん診療ネットワークを考える会（主催）
- ▶ 2021年4月奈良県てんかん診療拠点機関に指定

てんかんセンター外来患者数
(月平均)



奈良県てんかん地域診療連携体制整備事業



Nara Epilepsy Alliance

目的：患者さんが、最新、適切にてんかん医療が受けられるように、県内にてんかん医療を提供する病院・診療所が連携して、てんかん“医療”の諸問題を解決する体制を確立する。

事務局：奈良医療センター（拠点機関）

組織：県内にてんかん医療を行う医師（大学、病院、診療所）のワンチーム

事業内容：てんかん医療機関の棲み分けの確立（1次 2次 3次医療）

病病・病診連携

移行期問題の解決

奈良県てんかんサポート医（てんかんマスター）制度の確立

（てんかん学会のてんかん診療支援医制度が設立されればそちらへ移行）

症例検討会 月1回 ハイブリッドで実施

てんかん版地域連携パスの創設

各種研修会の開催



診療連携（病病・病診連携）



てんかん研修プログラム

目的 多くの医師にてんかんを理解してもらい、専門医とかかりつけ医が協調する診療体制の確立

方法 奈良県にてんかん専門医を中心に1回30分程度の講義動画を作成、配信

▶ 基本的なてんかんの診断・治療

▶ 社会福祉制度・運転免許・妊娠の問題など、follow upに必要な知識について

講義ごとに理解度テストをチェックし、合格者を「てんかんマスター」と認定

奈良県のホームページに、「てんかんマスター」として掲載

意義 患者の発見：たまたま受診した医療機関で、てんかんが診断されたり疑われるきっかけとなる。

医師のてんかん知識向上により、患者の信用も高まり、多くの施設でてんかん診療が可能となる

田村 健太郎

大学との連携

脳波技師によるモニター管理 脳波カンファレンスの様子



日勤帯は、脳波モニタリング専門技師が、患者様の様子を監視しながら、脳波解析を行っている。発作があれば、即、病室にかけつける。

奈良県立医大脳神経外科のてんかん専門医とは、「オンライン脳波・症例検討」を行っている。



コーディネーターの役割は大きい

- ▶ 患者の状態による受診の相談
- ▶ 受診できる病院の問い合わせ
- ▶ 治療・経過についての問い合わせ
- ▶ 自立支援医療制度について
- ▶ 精神障害者保健福祉手帳の取得について
- ▶ 保護帽作成について

等の問い合わせがあり対応しています。

* 運転免許や妊娠、就学、就労についての相談にも対応しています。

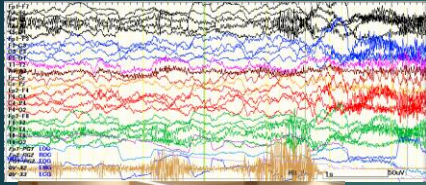
てんかんコーディネーター研修修了者

2021年度 看護師1名 MSW1名

2022年度 看護師 11名



2022年 実績



臨床心理士



臨床検査技師



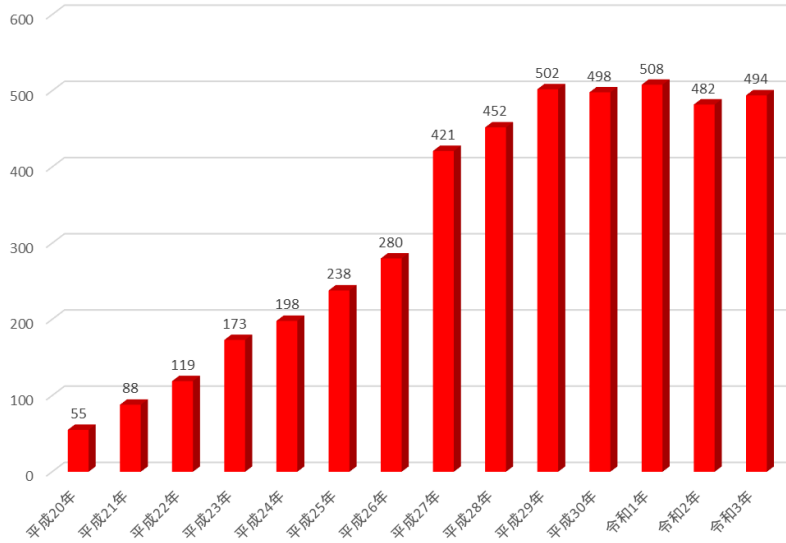
看護師



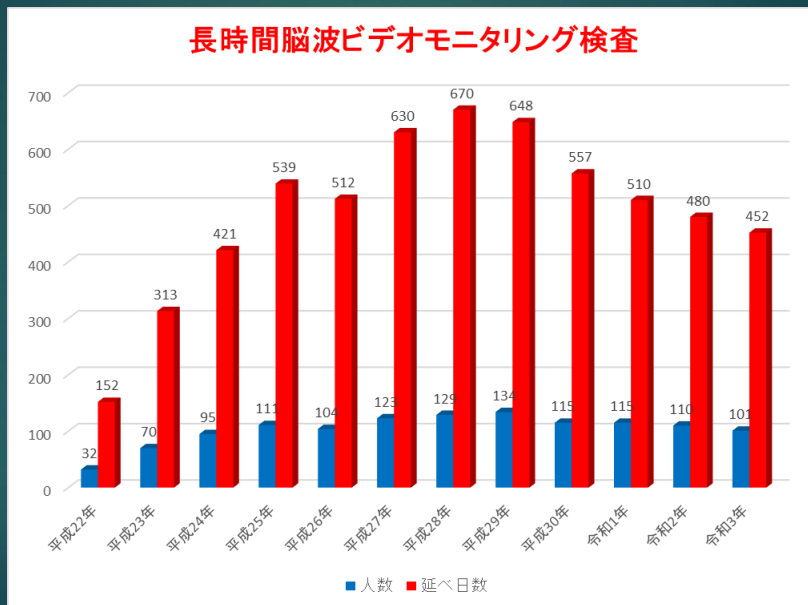
栄養士

外来患者数

てんかんセンター外来患者数(月平均)



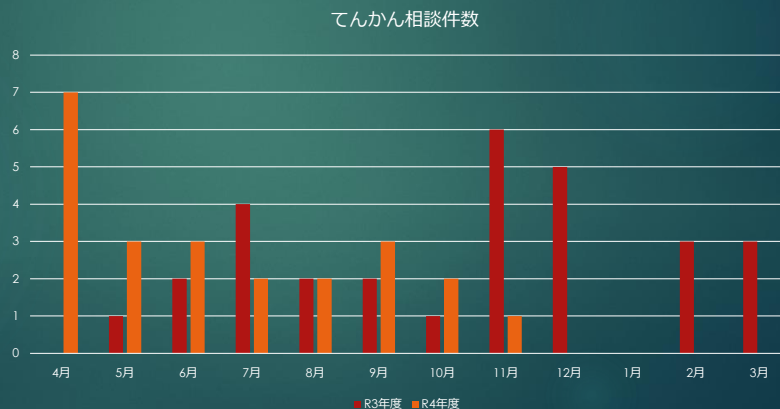
長時間脳波ビデオモニタリング



てんかん相談

◆てんかん相談

院内に「てんかん相談室」を設置、てんかん患者・家族が気軽に立ち寄り、コーディネーターが相談に応じられる場所を設置している。現在、電話による相談業務も院内の2名のコーディネーターが行っている。



院内研修

◆院内研修

	主な内容	講師	対象
R3,7,13	てんかん診療拠点機関の指定を受けて てんかんの福祉制度について	澤井康子 田中ありさ	看護師・保育士・ 児童指導員・ MSW
R4,1,18	てんかんの薬物治療について てんかんに使用する薬剤について	澤井康子 朝日信一	看護師・MSW・ 薬剤師



院外研修

◆院外研修

	主な内容	講師	対象
R4,3,26	てんかん市民公開講座 「てんかんで困った時は・・・」	澤井 康子 田中 ありさ	一般住民
R4,7,21	てんかん支援拠点施設勉強会 「てんかんと薬剤治療・服薬指導 について」	澤井 康子 細田 敦規	薬剤師
R4.12.20 (予定)	てんかん支援拠点施設勉強会 「てんかんと社会資源について」	守屋 和起 辻 友博	福祉職



結語

てんかん外来を開設して14年、てんかん診療拠点機関に指定され2年が経過したが、COVID-19の影響もあり、てんかん治療医療連携協議会は開催されていない。

奈良県のてんかん医療・福祉体制はまだまだ未熟であるが、これからも奈良医療センターは、てんかん患者さんのためにてんかん医療・福祉体制の確立に努力したいと思います。

